

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

市町村名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
064033.飯 豊町	②学校と地域 の課題	その他	学校の統廃合を控えており、学校と地域が遠い存在とならないための取り組みを充実させる必要がある。	放課後活動を広く町内に広める活動を推進する中で、具体的な事例を増やしてきた。	放課後活動において、地域学校協働活動推進員が中心となり、地域の方々から協力をいただいて事業を実施する。	地域に顔見知りが増えることで、登下校時や休日に声掛けしやすい環境が整備され、地域ぐるみの防犯機能が強化される。	地域の方々からの協力を得て実施した放課後活動の回数	8	その他	12	12	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。活動を通じて地域住民と児童生徒との接点が増加し、顔の見える関係性の構築が進んだことにより、登下校時や休日における見守りや声掛けが行われやすい環境が形成された。地域全体で子どもを見守る意識の醸成につながり、地域ぐるみの防犯機能の向上というアウトカムの実現に寄与していると評価できる。